

# かねやま絆の森だより 2019.10

## 【第22回かねやま絆の森 現地活動】

山形県、(有)三英クラフト、金山町と4者協定を結び、森づくりを始めて10年目を迎えました。この10年で、企業のCSRも、林業を取り巻く世の中の状況も大きく変わりました。私たちはこれまで得た経験を、今後の活動テーマである「未来につながる森づくり」へとつなげてまいります。

第22回開催日時	保育活動	人数
9月28日(土) 9:30~15:20	植樹(朴山)	47名
午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天皇陛下御即位記念標柱設置(金山町事業)</li> <li>・大美輪の美林見学 ・木育「やまがた木育絵本」</li> <li>・SDGsワークショップ (グリーンバレー神室)</li> </ul>	



参加組織(47名) 敬称略: アイジー工業(株)、置賜建設(株)、国土防災技術(株)、(株)荘内銀行、(株)ヤマコー、(株)メドテック、日東工器(株)、(株)山形丸魚、山形県、金山町、(有)三英クラフト、山形ゼロックス(株) 今回は当社や参加企業の新入社員他、来年入社が内定している学生の皆さんにも交流の場として参加いただきました。

## 【次世代の森づくり「ポット苗」植樹】

今回植えた次世代のポット苗

10年前に植えた杉苗



## 木育①【大美輪の美林】

### 樹齢300年の杉林を見学

植樹した後、大美輪の美林を散策しました。この場所は江戸時代から300年間、何世代にもわたって金山の人々が守り継いできました。



森が豊かになったら、人々の暮らしや社会はどう変化していくか。どのグループも最後は多くのSDGsアイコンの課題に変化が連鎖していきました。

## 木育②【やまがた木育絵本】

午後は、やまがた木育の絵本「もりはすごいなあ」を使い、森の恩恵や森の一生と森づくりについて学びました。子どもと森に出かけたい、話して聞かせたい、そんな大人が増えることも願って作られたこの本は森づくり企業にとっても周囲や参加者から理解を得るためのコミュニケーションツールとして活用が期待できます。



絵本から森の果たす機能や、役割について理解ができた参加者は、次に、森づくりがうまく進むと周りにどんな影響が出るか変化のつながりを整理しました。食・産業・防災・平和と様々な社会の課題が相互に関係しあって起きていて、私達の行動で良いことも悪いことも連鎖していくことに気づきました。

省スペースで運搬もラク!ポット苗は高い技術がなくても誰でも安全に植樹できるので、地域のイベントや企業の森づくりなどに最適です。

今回は「ポット苗」の杉を植えました。隣のエリアで10年前、昔ながらの方法で植樹した時に比べ、作業時間も、植える人の身体への負担もぐんと減りました。県の試験結果では、活着しやすく数年後には普通の苗に負けない成長量になります。まさしく、私達が思い描く次世代の森づくりです。



新しい参加者も多くて、森に活気ができました!

## 木育③【SDGsワークショップ】

最後に、次世代に森をつなぐための「再造林」の必要性を広く知ってもらい「次世代の森づくり」活動の輪を広げるためにどんなことができるかを話し合いました。



ガバメント・クラウドファンディングという手もある!

森づくりの課題になる「再造林」で不足しているモノやコト、ヒトに対し私たちはどんなアクションが起こせるか? SNSが身近にある若い参加者が出したアイデアに、お金のプロである荘内銀行さんが資金調達についてアドバイスするなど、お金の集め方、SNSでの周知、話題づくりについて、関係者が「うーん、なるほど。」と思わず唸るアイデアが各グループから飛び出しました。



4 質の高い教育をみんなに

15 陸の豊かさも守ろう

13 気候変動に具体的な対策を

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

12 つくる責任 つかう責任

17 パートナーシップで目標を達成しよう

今回の活動をSDGsのアイコンでまとめてみると

## 広げよう!SDGsの輪

山形ゼロックスは、今年からCSRをSDGsに照らし合わせ実践し、地方からその姿を発信します!